

わが市・わが町・わが村

水と緑が光る田園都市



七宝町 S H I P P O

七宝町は、愛知県の西部に位置し、北は甚目寺町、美和町、西は津島市、南は蟹江町、東は大治町、名古屋市に隣接しています。地形は南北に長く、3つの河川が町の北から南に流れており、大都市近郊ですが田園風景の豊かな閑静な町です。

町名の由来にもなっている七宝焼は、江戸末期にこの地に伝えられ、現在も伝統産業として継承されています。

尾張七宝は平成7年4月に通産大臣(現経済産業大臣)から伝統的工芸品の指定を受けました。美しい光沢と複雑な色合いが七宝焼の魅力であり、その製品には代表的な花瓶のほか、飾り皿、銘々皿、額、タイピン、アクセサリなどがあります。毎年11月上旬に開催される尾張七宝新作展では、七宝焼生産者協同組合が丹精込めて作りあげた作品が発表され、訪れた人々が七宝焼の優雅さに魅了されます。



七宝焼製品



アートビレッジ

興を進める拠点となります。約3.3ヘクタールのエリアには七宝焼の名品を鑑賞したり、製作工程の見学、七宝焼作りなどが楽しめる施設や、水と緑に触れることのできる散策路や芝生広場などがあります。

また、北部の沖之島は、加賀藩主前田利家の正室まつ(後の芳春院)の生誕地であると言われています。まつは12歳の時、利家に嫁ぎ2男9女をもうけました。利家が大出世を遂げることができたのも利家の軍功のみでなく、まつの内助の功があったためだと思われます。

平成13年には生誕推定地に、まつの生い立ちとその功績をたたえた顕彰礼が建てられました。

平成16年4月には、七宝焼発祥の地とされる遠島地区に、七宝焼を見て、触れて、学んで、体験できる総合施設「七宝町七宝焼アートヴィレッジ」がオープンします。同施設は七宝焼の魅力を全国に発信するとともに、産地の活性化や観光振興を進める拠点となります。

七宝町のホームページ <http://www.town.shippo.aichi.jp>